



八巻歯科医院院長(神奈川県)

山口里恵 7

ある日のお昼休み。午前の診療が終わりホッとして控室に戻ると、玄関のチャイムが鳴つて「こんにちは」と元気な男性の声がした。スタッフの「先生」という声に呼ばれ、玄関に出た。そこには、さわやかな笑顔の青年が立っていた。



「結婚式の日にちが決まったから報告に来たんだ」顔をよく見ると半年前に通つてきていた患者さんだった。あまりの変身ぶりにびっくり。

半年前に新患で現れた彼は、一時期世間を騒がせた宗教集団の教祖のように髪を腰まで伸ば

し、「結婚式の日にちが決まったから報告に来たんだ」顔をよく見ると半年前に通つてきていた患者さんだった。あまりの変身ぶりにびっくり。

相当の覚悟をしてうちの門をたたいたとのこと。「じゃあ、がんばろうね」と治療計画を立て、

相手の覚悟をしてうちの門をたたいたとのこと。「じゃあ、がんばろうね」と治療計画を立て、

それから彼はトレーディングカードの髪の毛を切り、彼女のご両親に快く許しをもらい、結婚式を来年4月20日に決めた。よくかかるようになつたことで、初診宣言されていたが、予約時間には必ず来てくれた。

治療が無事終了した時、「どうして私の診療所に来たの?」と聞いたら、東日本大震災災員元確認作業に私が行つたのを知り、自分も建築屋として被災地に赴

し、お口の中は残根ばかりでどこで噛んでいるかわからぬ状態だった。その異様な容貌にドキドキしながら問診してみると、外見とは違つて、中身は結構

治療が始まった。歯科通院は長続きしたことがないと最初から宣言されていて、予約時間には必ず来てくれた。

治療が無事終了した時、「どうして私の診療所に来たの?」と聞いたら、東日本大震災災員元確認作業に私が行つたのを知り、自分も建築屋として被災地に赴

たかが歯、されど歯